

# 希望

## 感謝を込めて作ります

豊間根地区の仮設団地5ヶ所に、豊間根小学校からお米のプレゼントがあったそうです。そこで、何かお礼がしたいと有志が集まり、雑巾作りを始めました。物資などいただいたタオルを持ちより、豊間根小学校と荒川小学校にそれぞれ100枚を目標に取り組んでいます。雑巾作りをしている方は、石峠橋の仮設住宅の入居者だけでなく、在宅のみならず仮設の方など、いろいろな方が参加していました。こんな風にコミュニティを作っている所もあるのだと、正直おどろきました。これから、被災前の所に戻れない方も出てくると思いますが、同じ被災者・同じ町民として新しいコミュニティを作っている

## ついでにも教室

遊び場や宿題をやる場所として町内5ヶ所で子ども教室が運営されています。子ども教室は児童保育とは違い、地域の方々の目線で見守りという形で行なわれています。対象地域の小学校で申込書をもらい、希望者にはスポーツ保険料を払ってもらっています。今回訪ねた大浦漁村センターの子ども教室では、毎日



と実感したひとときでした。集まっていた方々は、終始楽しそうに情報交換をしたり、笑顔が絶えませんでした。目標枚数が仕上がり、小学校へ届ける日はまだ未定ですが、みなさんの気持が笑顔と一緒に届けばと思います。

5名程の児童が利用しています。放課後安全指導員の中村智美さんと阿部捷男さんは、宿題の手伝いや遊び相手の他に、子供達が退屈をしないよう遊びの工夫や催し物の企画をしているそうです。下校した子供たちの声で二人の忙しい時間が始まりです。宿題に取り掛かる子、友達と遊び始める子と様々ですが、家へ帰る時間まで中村さんと阿部さんが子供達にとっては先生であり

## 運動会で健康音頭

5月は運動会のシーズンですが、南小学校では創立30周年を迎え、仮設住宅の方々も招待し、大々的に行なわれました。校庭で子供達が練習する姿をいつも楽しみに見守っていた仮設住宅の皆さんの間で、運動会に招待された自分達も何かやろうかというつもりになり、相談の結果、山田健康音頭を披露することに決めたそうです。踊りの指導にあたり、たのは、経験者の田老和子さん。田老さんは、参加した皆さんが踊りやすいようにアレンジし、夕方6時半ごろいかり練習をしてきたとのことです。練習の間には幕断幕を作成し、運動会を盛り上げるためのアイテムも準備したそうです。普段の練習では



いつも1時間ぐうい踊っていたので、本番はあっといいう間だったと皆さんが声をそろえていました。皆さんに喜んでくれたのも嬉しかったし、自分達もとても楽しかったと参加した皆さんが言っていました。

友達であり、頼れる大人なんだと感じました。子供達の居場所が守られ、元気に成長する場所がある事が、保護者にとっても安心です。震災後、子供の居場所が減っていることをよく耳にしますが、復興と共に、子供達の居場所が確保されていくことを願います。



友達が守られ、頼れる大人なんだと感じました。子供達の居場所が守られ、元気に成長する場所がある事が、保護者にとっても安心です。震災後、子供の居場所が減っていることをよく耳にしますが、復興と共に、子供達の居場所が確保されていくことを願います。

## 仮設住宅川柳

火の車 ふとみるこよみ  
仮設にて 絆友達 年金日  
ふえてきた 福士文子  
あれって何? あそこ行って  
山笑う まちづけえ号で あれ買うの  
バス笑う 大川ヒメ子  
支えられ 今朝も笑顔の 雨隣り  
ボランティア 揺る手と手に 心通う  
佐々木保幸  
山のおもと かれんに咲く  
かご作り 一人しずか  
むずかしい  
でもたのしい  
佐々木タミ

運動会とて楽しかったです。招待してください

した。仮設の中にとると体を動かす機会がないため、毎朝ラジオ体操をしているのですが、今度は健康音頭をやってもいいねと話をしている皆さんは、とても楽しそうでした。